

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	42	・食事を楽しむことのできる支援 同一敷地内の施設に一括して調理をお願いしてもらっている。利用者と一緒に物を食べるという事は行っていない。食事の味付けなど話しながら、ゆっくりと食事を楽しむことができていない。	副菜一品を栄養士から用意してもらい、一緒に食事を食べ感想など話しながら食事を楽しむ。楽しい食事ができる方法を検討していく。	同じ内容の食事をする事で感想を話す。味付けについての会話をを行う。まずは昼食から始める4月から始める。	12ヶ月
2	37	・災害対策 非常食や飲料水、備品等隣接する法人本部での一括管理となっている。災害にて外部と分断された場合、グループホームが孤立してしまう。	個別の非常食や備蓄をすすめる。	他グループホームでの備蓄について意見を聞き、グループホーム内での備蓄の場所や量などを具体的に決め保管・管理を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。